

平成 30 年度地域自立支援協議会交流会（全体会②）

都協議会会長結びのコメント（概要）

<岩本会長>

- 今日これだけ多くの自治体の方が集まっていたいて、情報共有ができたことは、1つ大きなことと思う。今回ここでどんな話があがって、どんなヒントを得たとか、他の自治体ではこういうことをやっているが、うちも少し取り入れてみることはできないかというようなことを是非皆さんが所属されている協議会で共有していただくというのも大事なことだと思う。
- 早くから協議会をスタートしたところは10年を過ぎて、振り返りをするということも大事な時期だと思う。どのようなことができて、何ができなかったのか。そうなるに協議会の強みと課題というのでも出てきて、例えば協議会でできること、やれたこと、これからも進めていくことと同時に一協議会では難しい課題、今後どういうふうにしていくかということと他を知ることも、他と協働することというのでも例にあがってきたと思うので、そういった振り返りというのでも重要な感じがした。
- 課題を課題として認識し共有するプロセスが大変なこと。課題解決よりも課題発見というのがすごく大変と言われるが、何をもって課題と言えるのか、課題の発見、課題の共有もやはりこの協議会のテーマである双方向性というのが重要な気がした。
- ボトムアップということが重要な協議会の機能だが、必ずしもそちらの方向だけではなくてあちこちの行き来がある中で、どっかで接点が見えるときに課題っていうのが浮かびあがってくるのかなということも非常に感じた。
- 地域課題という前に個別の課題というところも、何をもって課題というのかということを考えていくのは、一人や一団体ではだめで、いろいろなところとやり取りしたり、相互作用がある中で見えてくるものではないかということをお話やグループ討議のお話を聞かせていただいて思った。今日ここでいろいろな意見交換ができたことが次に繋がるのではないかなと思う。

<実行委員リーダーの海老原副会長から一言>

- 交流会という名前だけあって、とにかくいっぱい集まって情報交換しようみたいなことがメインで行われてきた。情報交換して、あそこの自治体はすごく楽しそうにやっているとか、いやいや意外と自分のところも頑張っているのではないかと見直す機会には十分になっていたと思うが、それを実際、自分の自治体でどう活かしていくのかというところは弱かったと思う。どうしたら自分の自治体の協議会をもっと盛り上げられるかというところに直結できるような仕組みにしようということで、前回から、最後にワークシートにまとめていただくような形式に変えてい

ただいた。

- 課題っていうだけあって、なかなか解決できないから課題っていうわけで、なかなか解決できない課題に、どうやったら取り組み続けられるかということが大事であって、一人で頑張っても全体会も進まないし、頭の中だけで理想を思い描いても、夢を追うだけでも解決はできない。やっぱり発声し合って、そうだよねと言い合える仲間を沢山作って、一番大切なのは楽しくやっていくことだと思う。解決に向けた小さいステップをどうやって踏んでいくか、今年はこれができたとか、解決には至らなかったけれども新しい社会資源と繋がって良かったねとか、そういう小さい小さいステップをお互い評価し合ってモチベーションをキープし続けるということが重要と思っている。どうやったら楽しくやっていけるかということのを頭の片隅に入れながら活動自体を楽しんでいただきたい。

<岩本会長>

- 続ける力がすごく大事で、そのためには仲間を作ることかなと思う。
- 今日多分グループでも名刺交換されたり、お互い知り合ったと思う。これも大事な人脈というか、皆さんのモチベーションに繋がっていくことと思うので、このご縁を是非大事に次に繋げていただきたい。